

京師帝國大學法學科大學

經濟論叢

第一號

第三卷

論說

資本ノ概念

資本利子稅設定ノ氣運

支那近代ノ戸口ニ就テ(一)

續正貨蓄積論

戸田博士ノ不換紙幣論ヲ讀ミテ

保險本質論(二)

雜錄

經濟雜話第四

聯合諸國輸出入禁制ノ我國ニ及ボス影響ニ就テ

對露輸出品代金ノ支拂決濟ニ就キテ

經濟戰爭ト我貿易上ノ利害

現前ノ大戰爭ニ就テノ感想

乳兒死亡率ト出生率トノ關係

らぐれ「みる」學說ノ研究(二)

本多利明ノ經濟說ニ關シ本庄學士ノ教ヲ乞フ

米國ニ於ケル移民教育機關

補習教育義務ノ可否

法學博士 河上 肇

法學博士 神戶 正雄

文學博士 內藤虎次郎

法學博士 小川郷太郎

法學博士 福田 德三

法學士 小島昌太郎

法學博士 田島 錦治

法學博士 戸田 海市

法學博士 神戶 正雄

法學士 河田 嗣郎

法學士 米田庄太郎

文學士 高田 保馬

文學士 大塚金之助

法學博士 福田 德三

法學士 山本美越乃

法學士 財部 靜治

(禁)

轉

(載)

大正五年七月一日發行

戸田博士ノ不換紙幣論ヲ讀ミテ

福田 徳三

戸田博士ノ『不換紙幣ノ價格ニ就テ』作田教授ノ『不換紙幣流通ノ根據ニ就テ』并ニ戸田博士同題ノ答文ノ三篇ニ於テ開始セラレタル討論ハ政策上時宜ニ合スルモノタルハ勿論理論問題トシテ甚ダ興味深キモノデ博士ノ眼常ニ水平線以上ニ向ヒ時ト共ニ又々時ニ先ツテ慮ルノ深キハ敬服ノ外ナキ所デ而シテ作田教授ガ透徹シタ考察ヲ這箇ノ根本問題ニ下サレタコトハ甚ダ歡迎ス可キ所デアル。

一

不換紙幣ハ惡シキモノナリト云フ政策上ノ見解ノ爲メニ其本質ニ關スル理論的研究ノ妨ゲラレタル甚シキハくなつゝ教授ガ屢々力説セラレタ所デ切ニ同感ニ堪ヘヌ。從來ノ金屬學說ヲ以テシテハ如何ニスルモ不換紙幣ノ貨幣性ヲ説盡スルコトノ出來ヌハ少シク考慮ヲ施セバ分ルコトデアルノニ觸ラヌ神ニ崇リナシトシテ不換紙幣ハ全然除ケ物トシテ貨幣論ヲヤツテ居メ今マデノ經濟學ハくなつゝ先生ニ三十棒ヲ下サレタガ未ダ夢ノ醒メヌ學者ガ多イ。我邦デハ左右田博士ハくなつゝ氏以前ニ既ニ此事ヲ疑ヒテ『信用券貨幣論』ニ於テ自家ノ說ヲ試ミラレくなつゝ出デテ後ハ山崎博士ハ著シク其說ニ傾カレテ續々獨得ノ研究ヲ公表セラレタ。然ルニ今又戸田博士ノ不換紙幣

論ニ接スルノハ甚ダ會心ニ堪ヘヌ次第アルガ博士モ又タ作田教授モくなつぶ及彼ニヨリテ開始セラレタ討論ヲ全然度外視セラレクルハ如何ノモノデアラウカト疑ハザルヲ得ナイ。

三

戸田博士ハ其第一文ニ於テ『予輩ハ今日ノ世界ニ於テ實體價值ナキ物カ貨幣トシテ汎ク流通スル爲メニハ正貨ヲ代表スルコトヲ必要ト信ズ』ト主張シ其代表ニ積極的ト消極的トヲ分チ兌換券ハ積消兩極的ニ代表スルガ不換紙幣ハ消極的ニ代表スルモノナリトシテ居ラレル。而シテ其消極的ト云フ意ハ強制通用力ノ存在ニヨリ消極的ニ正貨ヲ節約シ若クハ其喪失ヲ防止スルコトガ出來ルコトナリトシテ居ラレル。更ラニ第二文ニヨレバ

『兌換券タルト不換紙幣タルトナ間ハズ實體價值ヲ有セサル物體カ貨幣トシテ世間ニ流通スルト云ヘバ正貨ノ代リニ(代表ノ意カ代理ノ意カ、明ナラズ)貨幣價值ノ辨濟ニ汎ク使用セラルルニト云フノテアルカ、何故ニ此種ノ物體ガ此ノ如ク流通スルヤト云ヘバ、世人カ正貨支拂ノ必要ノ起リシ場合ニ此種ノ物體ヲ以テ其支拂ニ代用シ得ヘシト信スルコト即チ此種ノ物體ガ世間ノ流通信用ヲ有スルコトデアル』

トシテ居ラレル。

右ニヨツテ見レバ博士ハ金屬學說ヲ何處マデモ採用セラルルモノタルハ疑ヲ容レヌ。然レバ不換紙幣ヲ度外ニ置ク通説ト大差ナキモノデアルカト見レバ左様デハナクテ第二文ニ於テ

『予輩ハ(略)更ラニ進ンテ紙幣ハ理論上補助貨幣ト同様ニ永久ノ制度トシテモ或範圍ニ成立シ得ヘキモノト認メ之ヲモ紙幣ノ觀念ニ包括セシメントスル者デアル。故ニ其流通信用ノ發生ノ根據ヲ發行者ノ債務辨濟ノ期待ニ置カス、社會的勢力ノ代表者就中政府力之ニ對シテ流通保證ヲ爲スコトヲ以テ其成立ノ基本ト認メル』

ト云ツテ居ラレル。

博士ノ説ハ理論上ニ於テハ金屬學說、かるたる・ており一併ニ *Stetendefinitionstheorie* ノ三者ヲ有非機的ニ混淆シ、歴史上ニ於テハ成立ノ形式ト流通ノ根據トヲ分別セズ從テ過去ノ形式ト過去ノ實狀トヲ *durcheinander* ニ一括セラルルモノニアラザルカ。是レ予ノ博士ニ問ハント欲スル所デアツテ以下其理由ヲ少シク開陳シテ見ヨウト思フ所デアアル。

四

博士ガ金屬學說ヲ探ラルルコトハ『實體價值ナキ物カ貨幣トシテ流通スル爲ニハ正貨ヲ代表スルコトヲ必要ト信ズ』ト云ハルルニ徴シテ明ナリ。博士ノ所謂實體價值トハじむめる先生ノ *Substantwert* ノ意カ又ハ換太利價值學者ノ *Eigenwert* ノ意カ或ハ又此等學界ノ定説ヲ度外ニ置キ博士獨得ノ意義ヲ附與セラルルモノナルカ。實體價值ナル邦語ハ予ハ既ニ久シク *Substantwert* ノ譯語トシテ使用シ左右田博士モ亦「其信用券貨幣論」ニ於テ此譯語ヲ使用セラレタリ。其點ハ姑ク置キ戸田博士ハ此等舊例ニヨラズ實體價值ナル語ヲ使用セラルルモノト推定スルトキハじむめる氏程ノ深キ意ヲ含マズ單ニ *Stoffwert* ノ意ニ用ラレタルモノナル可シ。サスレバ貨幣ニ就テハ金屬價值ノコトナリ。故ニ博士ノ言ヲ意譯スレバ「金屬價值ヲ有セザルモノハ金屬價值ノ代表者トシテノミ貨幣タリ」ト云フニアリ。是レ純然タル金屬學說ニシテ金屬貨幣ノミガ眞正ノ貨幣ニシテ他ノモノ(兌換并兌換券及紙幣否ナ補助貨モ博士ニヨレバ代表物ナリ)ハ皆貨幣代表物ナリトスルモノナリ。而シテ博士前後ノ二文ニ於テ代表ト代理トノ區別ハ殆ンド無視セラレ居ルモノノ如シ。西洋學者ノ通説ニ於テハ

紙幣

本來ノ紙幣(強制流通力ヲ有ス) (兌換—金屬貨ヲ代表ス)
(即 法貨) (不換—金屬貨ヲ代理ス)
 非本來ノ紙幣(強制流通力ヲ有セズ) (兌換—兌換銀行券ニ同シ)
(即 非法貨) (不換—Scheinmünze)
(拙著『經濟學教科書』一三八頁)

トナシ兌換紙幣ハ金屬貨ヲ代表 (vertreten) シ不換紙幣ハ之ヲ代理 (ersetzen) スト認メラル。博士ハ又タ代用ノ語ヲ使用セラルルモ代表代理其何レヲ云ハルルヤハ同ジク分明ナラズ。れきしす氏ハ此ノ金屬代理不換 (法貨) 紙幣ヲ *Selbständiges Papiergeld* (六卷九八六頁) ト名ケタリ。博士ガ其二文ニ於テ不換紙幣トシテ論ゼラルモノハ此ノ獨立本來ノ不換紙幣ナルコトハ疑ヲ容レズ。サレバ博士ハ不換紙幣モ兌換券ト同ジク代表物ナリトシテ一ハ代理一ハ代表ナルコトヲ云ハレザルハ何故ナリヤ予ノ解スルニ苦ム所ナリ。代表ト云フトキハ必ズ其背後ニ正貨 (金屬貨) ノ存在スルコトヲ前提スルハ勿論ニシテ如見着語スル一下ニシテ博士數千言ノ補説ハ無用ニ歸スル譯ナリ。之ニ反シ代理又ハ補充ト云フトキハ此クノ如キ前提ヲ豫見スル能ハズ從テ博士ノ試ミラレタル如キ細説若クハ其以上ヲ必要トスルコトトナル。

思フニ博士ノ眞意ハ代表一貫説ニアル可シ即チ本來ノ不換紙幣ト雖モ其用ハ正貨代表ノ一事ニアルニ止リ代理ノ實ナシトセラルルナル可シ (博士ハ補助貨マデモ代表物トセラル)。是レ寧ロ金屬學說當然ノ歸結ナリ。此點西洋ノ通説ハ博士説ニ比スレバ理義ノ徹底ヲ缺ク甚シキモノト云フ可キナリ。貨幣ノ本質ハ其金屬價值 (博士ノ語ヲ以テスレバ實體價值) ニアリ之レヲ缺クモノハ何レモ代表物ノミ貨幣其モノニアラズト斯ク論ジテコン終始一貫ノ解説タルヲ得ルナリ。博士ノ説ハ

マサニ此クノ如ク解ス可キガ如シ。然ルニ第二文ニ至リテ博士ハ「紙幣(不換紙幣ノ意)」ハ理論上(略)永久ノ制度トシテモ或範圍(?)ニ成立シ得ヘキモノト認メラル、而シテ第一文ニ於テハ強制通用力ヲ以テ其爾ク認メラルル根據トセラルルコトハ作田教授ノ示サレタル如シ。即チ金屬學說者タル博士ハ不換紙幣ノ本質ヲ説クニ至リテ其本來ノ説ヲ捨テテくなつぶ氏一流ノかるたる・ておりト探ラルルモノナリ。換言スレバ博士ハ其貨幣一般論ニ於テハめたりすとタリ不換紙幣論ニ於テハかるたりすとニ一變セラレタルナリ。是レ實ニ西洋學者大多數ノ陷ル所「チレマ」ニシテくなつぶ先生ガ打撃ヲ下サレタル痛所ナリトス。金屬貨幣ト不換紙幣トヲ別々ノ解説ニヨリテ貨幣タラシムル便ハ即チ便ナリト雖モ理路ノ一貫ハ則チ亡シ、

然ルニ博士ハ其第二文ニ於テ更ラニ再變セラレタリ第一文ニ於テかるたりすとタリシ博士ハ第二文ニ於テハ或範圍マデ作田教授ノ説ヲ受ケ入レテ *Steuerfundationstheorie* ヲ採用セラレタリ。而シテ其採用ノ方法タル予彙ヲ以テ見レバ徹底ヲ缺クコト尠カラザルガ如ク作田教授ノ説ト對照シテ其 *Durchsichtigkeit* ニ著シキ相違アルヲ認メザル能ハズ。

是レ予ガ博士ハ理論上ニ於テ三箇ノ説ヲ混淆セラレタルガ如シト認ムル所以ナリ。

五

次ニ博士ハ歷史上成立ノ一條件一形式ト現在流通ノ根據トヲ混淆シ從テ過去ノ形式ト現在ノ實狀トヲ分別セラレザルガ如シ。博士ハ第一文ニ於テ「紙幣カ後日ニ至ツテ兌換セラルベシトノ世人ノ信用カ多クノ場合ニ其流通ヲ助ケテ居ルコトハ爭ハレナイトシテモ此信用ノ存在ヲ以テ其流通ノ必要條件ト見ルハ當ヲ得ナイ(略)」故ニ充分ノ實體價值ヲ有セサル貨幣ノ流通ノ要件(成立ノ

要件ニ非ズ!)トシテハ強制通用ノ存在ヲ以テ足ルノデアアル』ト云ハル。抑モ後日兌換ス可シトノ約束ハ一ノ歴史の事實ニシテ現在流通ノ根據ニアラス。何レノ國ニテモ不換紙幣ハ多クハ初ヨリ不換紙幣トシテ發行セラレタルニアラズ兌換紙幣ヨリ變化シ來レルモノニシテ全然無條件ニ兌換ヲ停止スルコトモアリ又ハ後日兌換ヲ恢復ス可シトノ條件ヲ付シテ一時兌換ヲ停止シタル儘ニ永續スルモノモアルナリ。此ハ不換紙幣ガ不換紙幣トナリシ時ノ成立ノ一經過ニ過ギズ而シテ多ク空言ニ過ギズ即チ一ノ歴史の形式タルノミ之ヲ以テ現在ノ流通ノ必要條件ト見ルノ當ヲ得ザルコトハ別ニ博士ノ細説ヲ要スルマデモナシ。或國ノ不換紙幣ガ不換紙幣トナリシニ付テハ後日兌換ノ期待ガ預ンテ有力ナリシト云フコトト不換紙幣ガ現ニ流通スルニ必要ナル根據タリト云フコトトハ全然別事タリ而シテ其約束タル必竟一ノ過去ノ而モ空虚ナル形式ニ外ナラズ。現在流通ノ事實ニ對シテハ全然沒交渉タリ。

六

博士ノ所謂消極ト積極トハ何事ノ謂ナリヤ是レ又タ予輩ノ諒解ニ苦ム所ナリ。博士ハ補助貨ヲ以テ消極的代表物ナリト云ハル。思フニ博士ハ予ガ前ニ指摘セル代表ト代理トノ區別ヲ判明セラレサリシ爲メ之ニ代ユルニ消極積極ノ語ヲ用キラレタルモノニアラザルカ。即チ博士ノ積極的代表トハ代表ノコトニシテ消極的代表トハ代理ノコトヲ指スガ如シ。今博士ノ意ヲ揣摩スルニ

Zwangskurs

|| 消極

Zwangskurs + Einlösbarkeit

|| 積極

トナスニアルモノノ如シ。元來金屬學說者タル博士ハ飽迄金屬本位貨ヲ以テ真正本來ノ貨幣トシ

兌換券ハ完全ニ之ヲ代表スルモ補助貨并ニ不換紙幣ハ唯ダ支拂要具タル職分ノミヲ代表スルモノナリトセラルルモノノ如シ。從テ貨幣ニ代理者アルコトヲ全然認メラレザルナリ。ザルニテモ積消極ノ用語ハ妥當ナリト信ジ難シ代ユルニ完全的、不完全のトシ

貨 幣 金屬本位貨

完全代表 兌換券

貨幣代表物 兌換強制通用

不完全代表 補助貨
不換紙幣

トセラレナバ博士說ハ諒解ニ便ナルヲ得可キガ如シ。即チ獨逸學者ノ所謂 Geldsurrogat ナル概念ハ博士ノ斥クル所ト判ジテ可ナラン。而シテ博士ハ這箇代表物其モノヲ名ケテ貨幣ト云ハルルコト『強制通用力ノ附與ニヨリテ正幣ヲ消極的ニ代表スレバ能ク貨幣トシテ流用シ得ル』云々ノ言ニ徴シテ知ル可シ。即チ博士ハ貨幣ナル語ヲ種々段違ヒノ意義ニ於テ使用セラルルモノニシテ Begriffsverwirrung ノ謗ハ免レザルモノノ如シ。

予ハ直截簡明ニ博士ニ問ハントス。不換紙幣(并ニ補助貨)ハ貨幣ナリヤ又タ貨幣代表物タルニ止リテ貨幣タラザルヤト。

七

貨幣ノ意義ヲ廣義ト狹義トアリトシ狹義ニ於テハ金屬本位貨即チ vollwertiges Metallgeld ノミヲ云ヒ廣義ニ於テハ戶田博士ノ所謂代表物ヲモ含ムトスルハ一應都合ヨキ解説ナル可シ。假リニ此ク定メテサテ其ノ廣義ノ貨幣タルニハ如何ナル本質ヲ具備スルヲ要スルヤ。博士ニヨレバ強制通用力ノ附與即チ其本質タルガ如シ。然ラバ生ズル疑問ハ強制通用力ノ存否ハ抑モ(廣義)ノ貨幣ガ貨幣トシテ成立スルニ要件ナリヤ又ハ現ニ絶エズ國內ニ流通スルニ就テ要スル要件ナリヤ。蓋

シ此二者ハ必ズシモ同一事タルヲ要セズ又タ同一事タル能ハザル場合アレバナリ。強制通用力ノ附與ハ或物ヲシテ貨幣トシテ成立セシムルニ要スル要件ナリト云フコトト一度成立シタル貨幣ガ其貨幣タルノ實ヲ維持スルニ要スル要件ナリト云フコトトハ自ラ別箇ノ事項タリ。一度強制通用力ノ附與ニヨリテ貨幣トナレバ永ク其實ヲ維持スルニハ他ノ要件ヲ要スルコトナシトノ立證ナキ限リ此問題ハ考究ヲ要スルコト勿論ナリ。作田教授ノ論說ハ即チ此要件ニ就テ細說セラレタルモノト見ル可シト信ズ。然ルニ教授ハ成立ノ根據ト現ニ流通スルコトノ根據トノ二者ヲ分別シテ論ゼラレザル如ク從テ強制通用力ノ附與ヲ輕視セラレ單ニ Steuerfundation ノ事實ヲ力說セラレタレトモコハ前掲拙表ノ示メス如ク非本來ノ紙幣(即強制通用力ヲ附與セラレザル不換紙幣ニシテ事實上此種ノモノハ殆ンド皆無アリ)ニシテ不換タルモノニ就テハ教授說ノ如ク一般ニ主張シ得ルハ勿論ナリト雖モ本來ノ不換紙幣ニ付テハ必ズシモ然ル能ハザルコトハ通說ノ認ムル所ニシテかるたりすとモ亦此點異說アルコトヲ聞カズ。而シテ部分的根據トシテハ Steuerfundation ガ凡テノ貨幣ニ要件タルコトハ通說モ亦否認セザルナリ。兌換券ト稱スト雖モ其實兌換ニ提出セラルルモノハ極メテ小部分ナリ。戸田博士曰ク『國庫ノ日常ノ收支ヲ行フニ要スル貨幣ノ量ハ歲入總額ニ比スレバ僅小テアリ又之ヲ民間ノ一般取引ニ比スレハ更ラニ遙カニ僅小テアル』ト。博士ハ此ヲ以テ Steuerfundation ノ要件の性質ヲ輕視スルノ論據トセラルル如シト雖モ其ハ不當ノ論法ナリト信ズ。何トナレバ兌換券ト雖モ兌換ニ提出セラルル額ハ其發行額ニ比シ極メテ僅少ナリ、博士ノ如ク云ヘバ此事實ヨリシテ兌換券ハ完全代表ノ資格ナキモノト結論ヲ生セザルヲ得ザルニ至ラン。況ンヤ我邦現在ノ如ク一圓兌換券ハ之ヲ本位貨幣ト兌換スルヲ得ズ又タ近來ノ如ク五圓

兌換券モ事實兌換ヲ實行セザルニ於テヲヤ。(予ハ頃日試ミニ自ラ日本銀行本店ニ赴キテ五圓券若干葉ノ兌換ヲ乞ヒシニ五圓金貨トハ兌換スルヲ得ズトテ拾圓金貨ヲ交附セラレタリ、後人ニ尋ヌルニ亦同様ナリトノ答ヲ得タリ)

實際 Steierfundationノ實ヲ具フル額ノ僅少ナリトノ事實ハ Steierfundationガ要件トシテ輕微ナルモノナリトノ論斷ヲ助クルモノニアラザルコトハ兌換セラルル兌換券ノ額小ニシテ又タ事實上制限的ナリトノ事實ガ兌換券ヲシテ兌換券タル性質ヲ輕微ナラシメザルト其理寸毫モ異ルコトナシ。國家ガ差支ナク之ヲ受取ルトノ認承ガ即チ Steierfundationヲシテ要件タラシムルモノニシテ實際受取額ノ多少ニヨリテ左右セラルル次第ニアラズ。

博士ハ作田教授ノ痛所ヲ外ニシテ却テ自ラ新タニ一ノ弱點ヲ添加セラレタルモノニアラザルカ。而シテ教授モ博士モ共ニ Steierfundationヲ一ノ相殺ト認メラル。此點予ハ諒解ニ苦ム。不換紙幣ノ發行者ト其受取者トノ行爲ハ果シテ相殺ナリヤ、然リトスレバ兌換券ノ兌換モ亦相殺ト認メザル可カラザル可シ。予ハ之ヲ共ニ認ムルヲ得ザルモノナリ。

博士モ教授モ共ニ國家ノ Steierfundationヲ一ノ債務決濟ト認メラルルモノノ如クナレトモ是ハ事實ニ反シ又タ論理合ハズ。三井三菱ガ不換紙幣ヲ受取ルト國家ガ受取ルト甚シキ相違アリテ而シテ此事又タ兌換銀行券ト不換政府紙幣トノ相違スル點ニ關聯スルモノナリ。何ゾヤ三井三菱ガ不換紙幣ヲ受取ルハ債權關係ニヨル取引ニヨルナリ。三井三菱ニ不換紙幣ヲ提供スルモノハ之ニ對スル債務者カ又タ新タニ債權ヲ得テ之ヲ提供スルノ取引相手方ナリ。幣言スレバ不換紙幣ノ授受ハ取引ニ伴ヒ債權關係ト收支關係ト必ズ相伴フモノナリ。兌換券ガ流通場裡ニ入ルモ多クハ債

務ノ決済カ又ハ新債權ノ發生(割引貸付)ニヨル商業取引ニヨルモノナリ。然ルニ不換紙幣ノ流通場裡ニ入ル一部ハ取引ニヨル可シト雖モ其大部分ハ取引ニ關係スルコトナキナリ。而シテ不換紙幣ガ政府ヘノ支拂ニ充テラルル場合ノ大部分ハ Steuerfundation ナル文字ノ示メスガ如ク租税ノ上納ナリ。是レ明カニ取引ニアラズ取引ノ結果タル双方的支拂ニアラズ反對給付トシテノ代金ニアラズ一方的支拂ナリ。國民ハ何等ノ經濟行爲ノ結果タラズ何等取引ニヨラズシテ常ニ國家ニ對シ多額ノ支拂義務ヲ負フモノニシテ其義務ハ年々繰返シテ已ムコトナキモノナリ。今年納税スルモ明年マタ納税セザル可カラズ。即チ國家ハ間斷ナク多額ノ支拂ヲ國民ヨリ受ク可キ状態ニアルモノナリ。 Steuerfundation トハ一時一回一定ノ相殺ヲ云フニアラズ間斷ナクシテ永續的ナル而シテ國中一經濟單位ノ受クル額トシテハ他ニ比類ナキ多額ノ(不換紙幣發行高ニ比シテハ僅小ナリトスルモ)支拂ヲ取引ニヨラズシテ受取ル可キ状態ニアルコトヲ指シテ云フナリ。

八

予輩ノ信ズル所ニヨレバ作田教授ノ力説セラレタル Steuerfundation ガ不換紙幣ノ現在流通ノ一要件タルコトハ獨リ不換紙幣ニ付テノミナラズ一切ノ貨幣種類ニ就テ認メザル可カラザル所ナリ。兌換券ニ付テハ細説ノ要ナシ金屬貨幣ニ付テモ極端ナルめたりすとタラザル以上斯ク認メザル能ハズ壞太利ノまりあ・てれじあ・たーらーハ此理ヲ證スル適例ナリ。

抑モ貨幣ノ起源ニ付テ種々ノ説アル中ニ就テ今日マデ予輩ガ歴史のニ又理論的ニ最モ當ヲ得タリト認ムル説ハ一方的支拂(上納)要具説ナリ。(拙著經濟學教科書ニ略説ス)君主ヘノ上納金、罰金、贖罪金又ハ神佛ヘノ献納金トシテ汎ク認メラルルモノガ貨幣トナリ又タ此クノ如キ必要アル

所ニ貨幣起ルトナス説ヲ云フ。即チ *Steuerfundation* ハ *Proclamation* ヨリモ先キニ貨幣ノ要件タリ
否其唯一ノ根據タリシナリ。單ニ文明國ノ不換紙幣ノミニ就テノ事ニアラズ。而シテ強制通用力
ノ附與ハ既ニ納賦資格ニヨリテ貨幣タリシモノニ法貨ノ資格ヲ認ムル一ノ手續タリ其事ハ一ノ法
制史上ノ事柄ニシテ經濟上ノ實質ヲ構成スルモノニアラズ、くなつぶ氏國定説ノ弱點ハ茲ニ存ス。
恰モ私有財産權ヲ國家ノ認承ヲ以テ説カントスルわぐな一氏ノ *Legaltheorie* 所有權ハ國家ガ認ム
ルニヨリ成立シ又タ存在ニスト云フ如ク法貨ハ國家ガ法律ニヨリテ認メシ故ニ法貨タリト云フニ止
リ何故ニ國家ガ認ムルヤ認ムルニ至リシヤ現ニ認メツツアリヤハ毫モ教ヘラレズ。予ハ常ニ此種
ノ説ヲ評シテ謂ラク是レ恰モ雨天ヲ定義シテ雨天トハ雨フル天氣ノコトナリト云フニ均シク誤ニ
陥ル憂ハナキト共ニ吾人ノ智識ハ毫モ爲メニ開發セラレズト。西洋人ハ此クノ如キヲ *Praxis* ト名
ケ此クノ如キ論法ヲ *Ratio principii* ト云フ。法律條文解釋論ナレバ其レニテ事足ル可シ實質ノ研
究ヲ事トスル經濟論トシテハ果シテ如何アラン。

一方的支拂ヲ歴史的最先若クハ最要ノ貨幣本質要件ト認ムルトキハ今日ノ貨幣論ニ改修ヲ要ス
ル點多クアルヤ勿論ナレドモ其ハ姑ク措キ不換紙幣ノ成立并ニ維持ニ就テモ *Steuerfundation* ヲ要
件ト認ムルニ堅固ナル證據ヲ與ヘラル可キガ如シ。然レドモマタ此ノミヲ以テ不換紙幣ノ一切ヲ
説盡サントスル作田教授ノ服シ難キコトモ忘ル可カラズ。

九

博士：*Steuerfundation* ヲ一ノ體裁論トシテノミ認メラルルガ如シ、曰ク

『併シ國家カ紙幣ノ存在ヲ希望シテ之ニ強制通用力ヲ附シ以テ之ニ世間ノ流通信用ヲ生セシメントスルノ制度ヲ行ヒツシ一面

論 說

戸田博士ノ不換紙幣論ヲ讀ミテ

第三卷 (第一號 八五)

八五

ニ國家自身ノ取引(1?)ニ於テ之カ存在ヲ認メナイコトトシ以テ其流通信用ヲ破壞スルコトハ矛盾ノ行爲トナルカラテアルト。國家ニ矛盾ノ行爲絶無ナリトスレバイザ知ラズ獨リ不換紙幣ニ就テ斯クマデ義理ト體裁トヲ重ズル所以ヲ解スル能ハズ。兌換ヲ約シツツ之ヲ實行セザルハ矛盾ノ行爲ニアラザルカ、否我邦現制ノ如ク嚴ニ金本位兌換制度ヲ執リツツ「銀貨一圓相渡可申候也」ト云フ一圓券ヲ盛ンニ流通セシメツツアルハ矛盾ノ行爲ニアラザルカ。博士ハ強制通用力ノ重大ナルヲ説ク爲ニ特ニ *Seuerfundation* ヲ一ノ體裁事項ニマデ下落セシメタルモノナル可シ。予ハ其妥當ヲ認ムル能ハズ國家ガ納税其他ニ其發行セル不換紙幣(又ハ或銀行ヲシテ發行セシメテ不換ヲ許シタル不換券)ヲ差支ナク受取ルハ此クノ如キ體裁ノ爲メニアラズ作田教授説ノ如ク其事ガ不換紙幣ガ現ニ流通スルニ不可缺一要件ナルガ爲メナリ。博士ハ不換紙幣ガ不換紙幣トシテ成立スルニハ國家ノ *Poollanation* ガ最重要ノ根據タルヲ説クコトト其ガ現ニ流通スルニ就テハ *Seuerfundation* ガ最重要ノ一要件タルコトトノ分別ヲ下サズ單ニ強制通用力ヲ重要視ス可シト論ゼラル。是レ最モ純粹ナルかるたりすと雖モ未ダ説カザル極説ナリ。曩キノめたりすとタル博士ト對照シテ其ノ餘リ弓ヲ他レルニ驚クモノハ予輩一人ノミナラジ。作田教授ハ乃チ枉レル弓ヲ矯メント欲スルノ餘リ弓ヲ他ノ反面ニ甚シク枉グ終レリ。予ハ斯クノ如クシテ軟弓ノ終ニ而斷セラレンコトヲ恐レザル能ハズ。博士ノ論說前後二篇就テ論ズ可キ題目ヲ提示セラルル甚ダ多シ、幸ニ餘閑ヲ見出スコトアラバ更ラニ詳論ヲ試ミントス。此文ニ於テハ其最モ要點タルモノノミニ就テ予ガ起ス所ノ疑ヲ開陳スルニ止ル。博士ニシテ示教ヲ惜ムナクンバ幸甚シ。(五十七)

此文ハ僅々數時間ニシテ下筆シ更ラニ推敲ヲ用弁ズ蓋シ本誌ニ投稿ノ約アリテ果サズ締切ニ際シ責業ギノ一文ヲ思立テタルニヨル。故ニ論陳ニシテ文甚ダ惡シ他日ノ改稿ヲ期スルモノナリ。